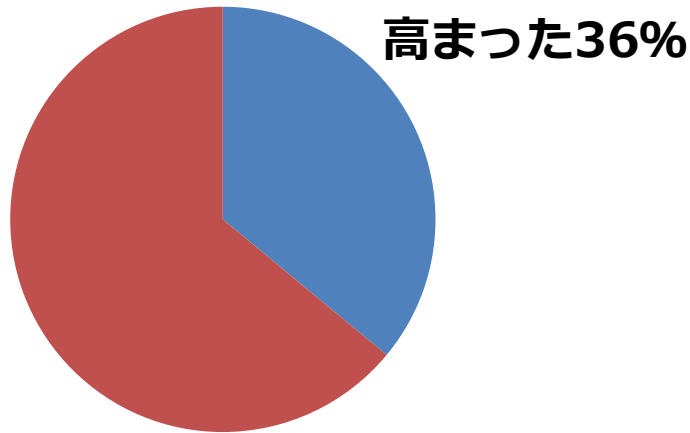


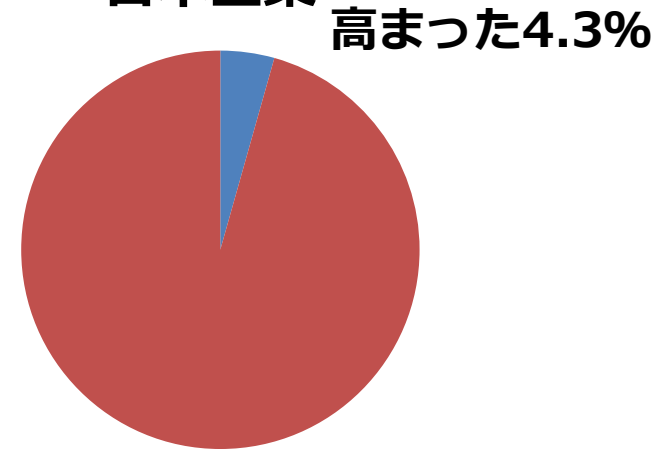
# グローバル知財マネジメントとは何か

標準化と融合した知財戦略でグローバル競争力が高くなったか

海外企業



日本企業



H24年度特許庁 知財国際権利化戦略推進事業報告書

グローバル競争力を創る知財マネジメントを考える

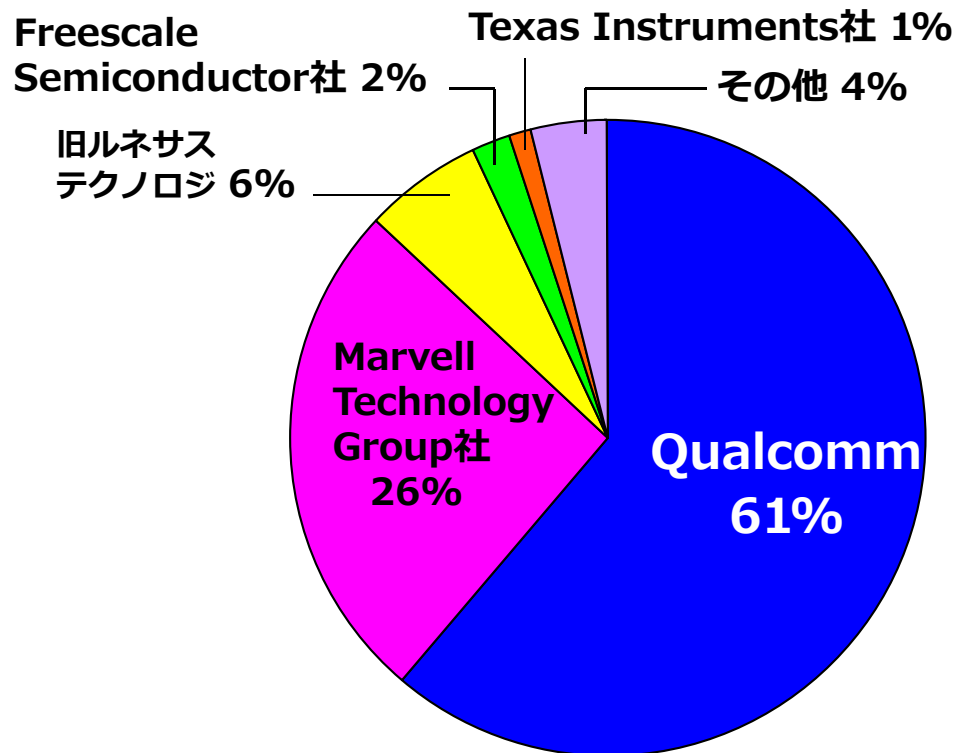


# グローバル競争力の例：Qualcommの知財マネジメント

製造業と多額の特許実施料収入を両立させる

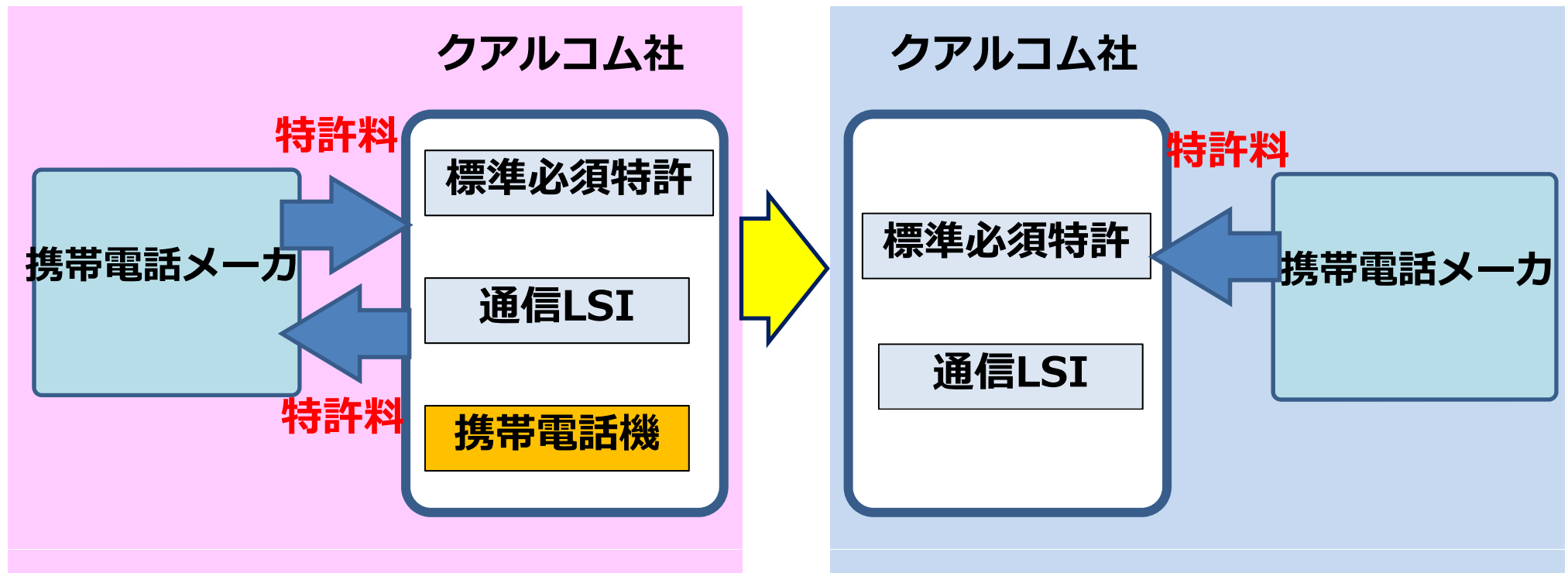
- ・ 特許ライセンス収入 2008年：3,622百万ドル
- ・ 携帯電話用LSIで高い世界シェア

携帯電話用統合型プロセッサのシェア（金額ベース）



# 電話機撤退が特許ライセンスで優位な立場

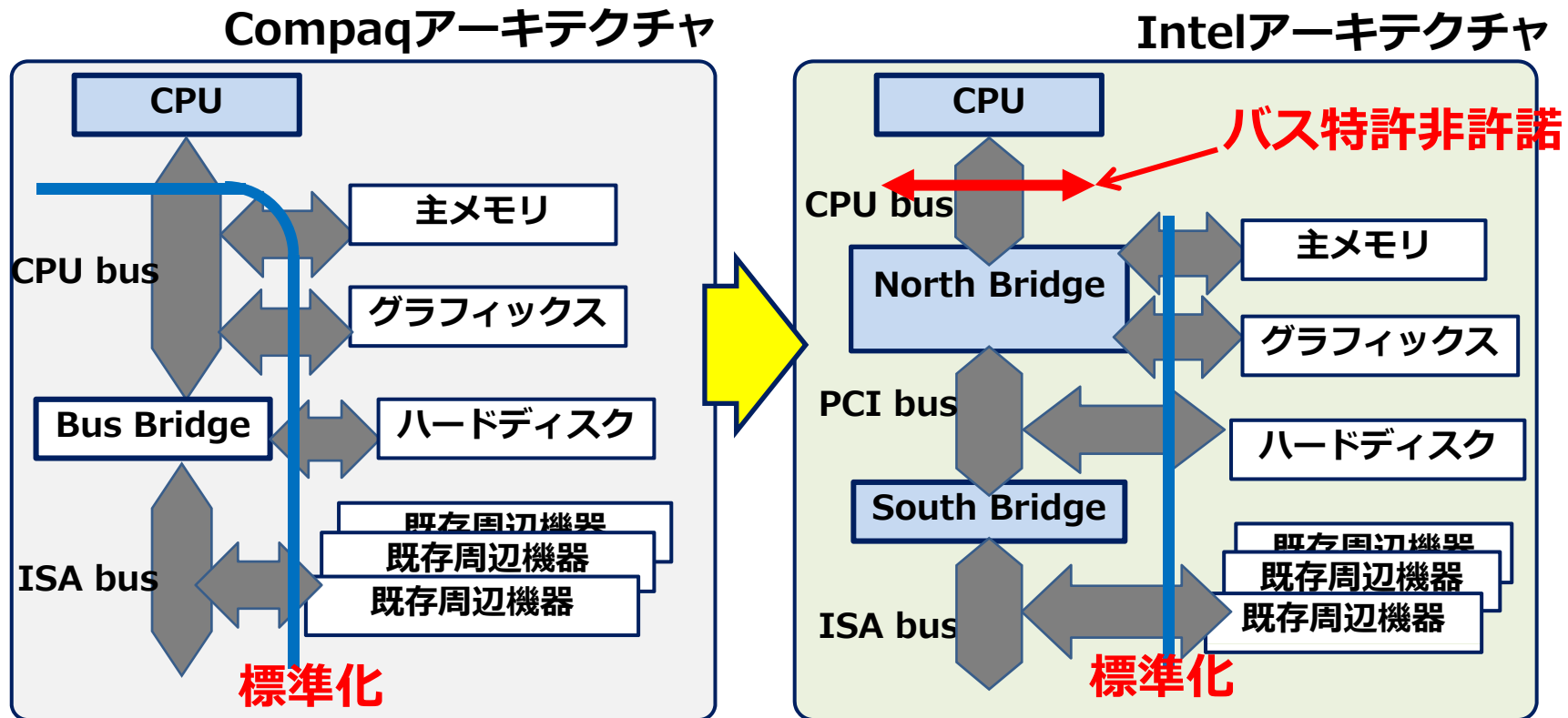
標準必須特許の殆どは、通信LSIに実装される  
特許ライセンス料は、機器に課す慣習が一般化  
機器事業がないので、自社特許の効力が強くなる



# グローバル競争力の例：intelのパソコンCPUチップ

バス制御LSIを他社が供給 ⇒CPUバス特許の実施許諾が必須  
バス制御LSIを自社で供給 ⇒CPUバス特許で権利行使が可能に

CPUバス特許でピン互換CPUを封じ、パソコンCPU市場を寡占



# 企業の境界が知財競争力を左右する要因

## 「企業の境界」の問題

企業活動で、何を自社で行い、何を他社に依拠するか

### 例 スマートフォン事業

A社：商品企画は自社、生産は他社に委託

B社：商品企画からLSI・機器製造まで自社

Qualcomm 機器事業から撤退 特許ライセンスで優位に

Intel バス制御LSIを自社で供給  
バス特許で互換CPUを排除, CPU市場を寡占

# 特許競争力を組み込んだ経営戦略

## 企業の境界の決定は、経営戦略の根幹

従来の知財マネジメント

経営戦略を策定



事業戦略を支える  
知財マネジメント

グローバル競争力をもつ知財マネジメント

知財競争力を考慮して  
経営戦略を決定する

技術・生産・流通・財務等と  
並んで知財は経営戦略の要素

経営者 : 経営戦略で使う知財手法が必須  
知財プロ : これを経営者にインプットできる

名古屋大学大学院 “知財戦略”講義で教育

事例研究を使って説明

DVDドライブ、インクジェットプリンタ  
パソコンCPU、3G携帯電話 等